

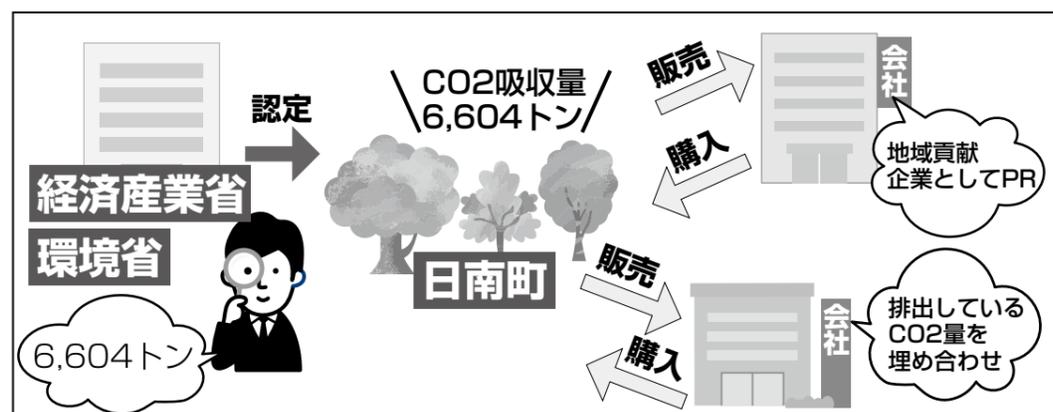
日南町有材 J-クレジット 令和2年度売上最高額を記録!

日南町有材 J-クレジットの令和2年度売上額が過去最高額を記録しました。(平成25年度より発売)

新型コロナウイルス感染症が拡大し、景気が良いとは言えない状況下で、なぜ販売額が最高額を記録したのか。背景の推察と、温暖化対策の取り組みが地球規模で求められている中で日南町は今後どのような姿を目指していくのかお伝えします。

J-クレジット制度とは

J-クレジット制度とは森林等の二酸化炭素(CO₂)の削減量・吸収量を認定し、売買を可能とした国の制度です。日南町では、林業振興や環境保全、生態系の維持を目的に国(経済産業省、環境省が運営)からJ-クレジット制度を取得し、県内外の多くの企業に販売しています。8年間で3358トン(全体量6604トン)の販売等を行っています。



SDGs未来都市認定式(官邸) 令和元年7月1日

※5月10日現在の販売額約2400万円

J-クレジット制度に取り組んだ目的

J-クレジット制度の正式名称は、国内における地球温暖化対策のための排出削減・吸収量認証制度、と言います。名前の通り温室効果ガス(CO₂等)排出の削減や、吸収源の増進を通して地球温暖化対策を行うために設立されました。森林のまち日南町においてできることとして、森林整備を通じた地球温暖化対策に積極的に参画してきました。販売収入を森林整備に活用できる等、購入企業との新たな事業展開の可能性が広がり、持続可能なまちづくりに向けた多様な取り組みに繋がります。

なぜ販売増につながるのか?

以前より環境問題について世界で取り組むことが重要視されてきましたが、SDGsの考えが浸透し、日本でも多くの企業・自治体を取り組み、CM等でも放送されるようになりました。これまでのように、企業が利益分をCSR(企業の社会的責任)として社会貢献活動や環境貢献活動に充てるのではなく、企業が持続するためにESG経営やSDGsといった視点が前提として存在する。こういった時代背景が販売の増に繋がっていると推察されます。

※SDGsとは

2015年に国連で開かれたサミットで採択された国際社会共通の目標。日南町は令和元年度に国から未来都市(全国30都市)として選定されました。

地域全体で取り組む環境問題

購入した企業においては企業活動等において排出されたCO₂を、J-クレジットの購入で埋め合わせることで(カーボンオフセット)、環境貢献企業としてのPR効果だけでなく日本各地の森林保全活動や中小企業等の省エネ活動を後押しすることができます。ESG経営といわれる「環境・社会・ガバナンス」が当たり前となっている昨今では欠かせない取り組みとも言えます。

※ESGとは

環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取って作られた言葉。近年ではこの3つの観点から投資対象を選ぶ「ESG投資」が注目されています。

地元の銀行による仲介

地方銀行もSDGsを軸とした地域課題の解決に積極的に取り組んでおり、日南町のJ-クレジット販売契約の半数以上は(株)山陰合同銀行、(株)鳥取銀行の仲介によるものです。国や企業の動きに関する情報を蓄積している地方銀行は、J-クレジットのみならず、地方創生に資する施策展開に欠かせないまちづくりのパートナーとなっています。



日本通運(株)との森林育成活動

今後の日南町を目指す姿とは

日本の30年後の姿とも言われている日南町。SDGsは町が存続していくための羅針盤とも言えます。人口減少、地域資源の乏しい日南町においては、SDGs17の目標の1つ「パートナーシップ」が欠かせません。1つの自治体だけでは、その町が抱えている問題は解決しないため、企業、団体、学校、研究機関、そして私たち一人一人が自分達にできることを取り組むことが今後更に重要となってきます。そして手を取り合い、誰もが取り残されることのないまちづくりを目指していかねばなりません。取り組み例の1つとして、林業においては物流大手の日本通運(株)と10年来の森林活動を行っており、これまで500人を超える社員の皆さんに來町いただき森林保全を行っていただきました。

J-クレジット制度に限らず、今後多様な考え方や多様な企業・パートナーとの連携により、持続可能なまちづくり、ダイバーシティ(多様性)の視点によるまちづくりに取り組んでまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 真実のゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

17 パートナリシップで目標を達成しよう